

Van Volxem ファン・フォルクセン



地域: Mosel

地区、村: Saar ザール, Wiltingen, ヴィルティンゲン村

オーナー: Roman Niewodniczanski ローマン・ニエヴォドニツァンスキー

醸造責任者: Christoph Friedrich (2021 年産から醸造)、Dominik Völk ドミニク・

フェルク (2004~2021 年の収穫まで)、Gernot Kollmann ゲルノート・コルマン (2000~2003 年産、2009 年から Immich Batterieberg の経営醸造責任者)

HomePage : www.vanvolxem.de

栽培面積: 約 85ha

年間生産量: 約 600,000 本

栽培品種: リースリング 95%, ヴァイスブルグンダー 5%

所有畑:

VDP. Große Lage : Wiltingen ヴィルティンゲン村: Gottesfuß ゴッテスフース, Braunfels ブラウンフェルス
Volz フォルツ, Scharzhofberger シャルツホーフベルガー
Scharzhofberg Pergentsknopp シャルツホーフベルク・
ペルゲンツクノップ

Kanzem カンツェム村: Altenberg アルテンベルク

Wawerner ヴァヴェルン村: Goldberg ゴルトベルク, Ritterpfad リッタープファード

Ockfen オックフェン村: Bockstein ボックシュタイン

Ayl アイル村: Schonfels ショーンフェルス

土壌構成: Roter, Blauer, Devon-Schiefer (赤色、青色のデヴォン期粘板岩)、Grauwacke (硬砂岩), Quarzit(珪岩), Rhyolith(流紋岩), Quarzporphyr(珪質斑岩)

ファン・フォルクセン——グラン・クリュのザールワイン

歴史:

ザールで最も重要なワイン村ヴィルティンゲンの中心部にあるファン・フォルクセンは、ローマ時代の荘園の館の基礎の上に建てられています。17 世紀にはルクセンブルクのイエズス会修道院が所有する農園管理施設でした。やがてフランス革命で世俗化されると、ブリュッセル出身の、ビール製造業で財を成したグスタフ・ファン・フォルクセンの所有となりました。ザールの優れたブドウ畑から産するワインのポテンシャルを見抜いていた彼は、1900 年頃には世界的な銘酒として垂涎の的となるワインの生産者となりました。

2000 年のはじめ、この長い歴史を誇る醸造所を、現当主のローマン・ニエヴォドニツァンスキーが購入しました。そして歴史的建造物として適切に改修工事を行い、数々の優れたブドウ畑を買い足してきました。2004 年にドミニク・フェルクが醸造責任者として加わった、この醸造所の若いチームが目指しているのは、妥協を排して高品質なワインを追求し、およそ 100 年前に誇っていた名声を、現代に蘇らせることにほかなりません。

2019 年 7 月にはザール川沿いの小高い丘の上に新しい醸造施設が完成。2022 年 11 月に長年醸造責任者を勤め

【地図：1868年の格付け地図の中の、ファン・フォルクセンが所有する畑】